

り災物件明細書

り災した住居の所在地	名古屋市〇〇区〇〇町1-2		り災組合員氏名 別居被扶養者氏名	共済 太郎 () 続柄 ()	
浸水の状態	令和〇年 〇月 〇日 前 後	10時	最高水位	床上	cm
住居	住居の区分 自宅・公舎又は公営住宅・借家・借間・アパート・その他 ()				
	規模	階建の 階に居住	一階 二階 三階	m ² m ² 延 m ²	構造 木造・ブロック造 鉄筋コンクリート その他 ()
	各階の平面略図 (必要なときは断面略図を添える。) り災個所は朱書すること			住居四周五十米内の略図 (風の方向明記)	
	N			N	
	り災個所の説明	住居全焼			
り災前の見積価格	損害額	残存価格	り災率	D	摘
A 10,967,504	B 10,967,504	C 0	100 % 2 か月		要
家財	別紙「り災率判定票 (家財)」のとおり。 り災率 100 % か月		総合判定 標準報酬 3 か月		
<p>上記のとおり損害を受けたことを申立てます。</p> <p>名古屋市職員共済組合理事長 殿</p> <p>年 月 日</p> <p align="right">住所又は所属 名古屋市〇〇区〇〇町 1-2 申立者 氏名 共済 太郎 職名 総務局総務課 所属署長 氏名 総務 一郎</p>					

◎注意 該当事項の列挙してあるものは○で囲み、記入しない個所は斜線を引くこと。